

都市計画 市庁舎と医大と駅の 都市計画

ことで、1階部分を土で覆うことで地下階などの建築ボリュームを軽減するなど計画している。パース図は、3月議会もしくはそれ以前に説明の機会を得て示したい。

問 医大と病院前新駅の概要は、平成24年度には発表するはずではなかったか。病院前新駅ができた場合、何人が八木西口駅を利用しなくなるのか、八木西口駅が無くなるのか、八木西口駅が無くなるのかを見極めないと、市役所の建替えが現庁舎場所が良いのかどうか見えてこない。進行状況は。

答 新駅設置も含め基本構想となるグラウンドデザインを示すと言ってきたが、今年度中に示すことは難しい。現時点では、農業総合センターが桜井市の農業大学校へ移転し平成28年度オープンを目指し、その農業センターの跡地に医大の教育部門の一部を移転し、新キャンパスとして平成33年度オープンを目指すことが決まっている。グラウンドデ

ザインについては、検討するための具体案がまだ県から示されていない。また、新駅ありきでまちづくりを進めているが、八木西口駅に与える影響は大きいと考えている。乗降人員が減少すると、近鉄の整理対象になることも考えられるが、八木西口駅を無くす、無くさないということについては様々な問題もある。調整も必要で、かなりの時間がかかる。今後、新駅の設置も含め検討していきたい。

問 八木西口駅利用者の何割が病院関係に行かれていたのかなどの調査は。

答 近鉄に確認したところ八木西口駅は約5千人程度の利用があるとのことである。そのうち医大の方面へ行かれている方の人数は調査していないが、かなりの方が利用されていると見ている。

問 バリアフリーを目指して八木西口駅のエレベーター公費補助を実施しているのに、今回、駅員が一定時間無人になる。車いすの方にとっては乗車時間の変更などへの融通も利かず、駅員の無人化はバリアフリーとは反対のことをしていることになる。畝傍御

陵前の福祉担当課が将来、現市庁舎へ統合されるのならなおさらで、市庁舎の最寄り駅が無人化になることはあつてはならず、断固抗議すべきだと思うが。



八木西口駅エレベーター

答 近鉄には無人駅や時短駅にするための基準があり、乗降客数が3千人以下の駅は無入駅に、3千人〜5千人の駅は時短化することになっており、3年ほど前から取り組んでいるとのことである。市として、時間短縮等について抗議をした。急な話であり、遺憾に感じている。

問 防災計画では、震度5の地震で万葉ホールを緊急対策本部にする。現庁舎が潰れかねず、対策本部だけでなく万葉ホールの貸し館を全部止めた上で、全ての課をホールに移し日常業務をせねばならなくなるだろう。また、八木駅南千坪と現庁舎場所、庁舎を二つ作る計画が提案されているが、建蔽率・容積率から見ると現庁舎場所だけで全ての課が集約できる。であれば、災害が起きる前から万葉ホールを一時的に庁舎としておけば安全であるし、大きな建物を建てるために現庁舎場所を更地にすることもできる。また、病院前駅が万葉ホールに近いのなら、ホールに庁舎を置いたまま、現庁舎場所に文化会館的な物を建てるという考えも有り得るのでは。

問 大和八木駅駅長を訪ねたところ、駅職員の時間短縮については、警察署、中和消防、当駅を利用する畝傍高校と地下通路を通る晩成小学校には連絡をし、地元自治会等へは市民協働課を通しお願いしており、医大には連絡はしていないが、病院へ行かれる方の時間帯は駅員がいる時間帯であると認識しているとのことであった。市としては、重要な駅であり、時間短縮とならないようお願いした。

問 お願したというが、簡単に無視されたわけか。

答 震度5以上の地震が発生した場合、万葉ホールへ本部を置くことは考えているが、庁舎全部を持つていくことは考えていない。確かに現本庁舎場所を更地にし容積率を最大限使えば全ての課を集約できるが、そうするには仮庁舎が必要で26億円ほど必要となるため、その計画は断念している。八木駅南や本庁舎については、検討委員会でも考えたプランを示したところであり、これから議論を深めたい。

問 この1年間を見てもかなり内容が変わっており、議論が必要である。26年3月までに決定できるとは思えず、予算計上は急ぎ過ぎでは。

答 プランの中に概算事業費等を盛り込んでいます。議論を深めていきたい。庁舎の南側の土地の交渉等も含め予算を計上したい。

教育制度

問 第三者委員会に元顧問弁護士を入れたあげく、その委員会が解散されたことよって中学生の転落死の解決が半年以上遅れている。これは大